

# 今井だより

つよく たくしく あたたかく  
笠岡市立今井小学校 学校だより

学校教育目標  
『心豊かで、  
自らを伸ばす  
児童の育成』



(『今井だより』は、学校のホームページからもご覧になれます。)

第12号 令和3年12月17日

## みんなで地域安全マップづくり



2年に1回実施している「地域安全マップづくり」を、今年度は12月10日(金)、14日(火)に行いました。この活動の目的は、「危険な場所」や「安全な場所」について子供たちが自分自身で調べ、発表し合う活動を通して、自分たちで安全な行動をしようとする意識を高めることにあります。

まず初日(10日(金))には、それぞれの登校班で担当教員と共に下校しながら、通学路の「危険な場所」等を探し、メモ・写真撮影を行いました。二日目(14日(火))には、初日に調べたことをもとに、「危険な場所」の写真と説明を書いたカードを画用紙に貼ってまとめ、その後、班ごとに調べたことや活動の感想を発表しました。

子供たちが調べて発表したことの一部を紹介すると、『横断歩道がない』『道が狭くクルマにひかれそう』【園井】、『道路がデコボコでクルマが寄ってくる時がある』『不審者が潜んでいそう』【大峠】、『ガードレールがない』『鉄板がグラグラして危ない』【本谷】、『交通量が多い』『夜とても暗いので見えない』【今立1】、『クルマの出入りがあり危険』『横断歩道の白線が消えかかっている危険』【今立2】、『不審者が隠られる』『クルマが多い』【馬飼・広浜】等です。心配な言葉が並んでいますが、子供たちが危険を自覚し自身で身を守る行動をすることと共に、いわゆる「社会インフラ」として改善・整備しなければならないことも多々含まれていて、見過ごせません。ちなみにこの夏、文部科学省から「通学路における合同点検」実施の通達があり、県・市職員等が校長や教頭立ち合いの下で通学路の点検は行いました。上記危険箇所のいくつかは、安全な状況へと改善されることになっています。

報道によって登下校中の痛ましい交通事故の話が全国各地から伝わるたびに、よそ事と思えず心配になります。保護者・地域の皆様には交通指導でお世話になる等、日頃から格段のご配慮をいただいておりますが、ご心配なこと等がありましたら、いつでも学校までご一報願います。日々、学習・スポーツに励んだり友達と仲良く過ごしたりしている子供たちの微笑ましい姿も、安心・安全な生活の上に成り立つものです。あってはならない事故・事件から子供たちを守る覚悟は、私たち大人が最優先で大切にしなければならないことと考えています。